

やさど



かしこく、あたたかく、たくましく

平成 24 年 12 月 13 日

第 22 号

先週末から寒さが厳しくなり、八郷にも雪が舞いました。本格的に冬の到来です。先日はご多用の折、今年度の学校評価アンケートにご協力をいただきありがとうございました。いただいたアンケートは集約し、皆様の意見として真摯に受け止め、来年度の八郷小学校づくりビジョンに生かしていきたいと思えます。

さて、一番長かった二学期も、約1週間を残すのみとなりました。大きな事故や感染症の流行などもなく、みんな元気に二学期を終えることができそうです。これまでの保護者の皆様のご支援ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

寒いけどがんばりました

◆チャレンジウォークラリー◆

12月7日1,2時間目にチャレンジウォークラリーが行われました。代表委員、児童会役員が企画・用意したいろいろな出し物を、きょうだい学級でグループを組んで回りました。スタンプラリーのように、チャレンジカードにサインをもらったり、書き込んだりしながら、各教室を回りました。グループで一緒にゲームやクイズを楽しんだり、真剣な表情で空き缶のタワー積みチャレンジしたり、宝探しをしたりとドキドキワクワクがいっぱいのウォークラリーでした。



◆低学年かけ足記録会◆

12月5日は、風の冷たい中、低学年のかけ足記録会がありました。ちびっこたちは、寒さにも負けず、自己記録更新めざしてがんばりました。友だちや応援に来ていただいた保護者の皆様の声援を受け、精一杯走りました。もちろん歩いた子はいませんでした。体育の得意な子も苦手な子も自分の気持ちとの闘いをしっかりがんばっていました。



◆朝明中学校区人権フォーラム◆

朝明中学校1年生、大矢知興譲小学校6年生、そして八郷小学校6年生の代表23名が参加しました。まず、校区内にあるあさけワークスを見学し、聞き取りをしました。その後学校でグループに分かれて、感想を交流しました。子どもたちは、「働く人のことを考えて工夫されていた」など活発に意見を交流しあいました。さらに、『自分は今何ができるか』考え合いました。初めて出会った子どもたち同士で最初は緊張しているようでしたが、最後には打ち解けて自分の思いを話していました。



冬休みに基本的な生活習慣と家庭学習の習慣化を

① 冬休みにしていただきたいこと、それは基本的な生活習慣を確立することです。

「早寝早起きをする」「家族とごはんを食べる」「あいさつをする」「家事を分担する」などの基本的な生活習慣やしつけをしていただくことは、「自分のことは自分です」「きまりを守って人に迷惑をかけない」ことにつながります。また、家族で過ごす時間が十分にとれる冬休み、普段よりじっくり語らう時間がとれることでしょう。子どもの頃の話や昔の先人の智恵、いろいろな知識、人の命の大切さなど直接お話していただけるとお子さんの心も満たされると思います。

② 学校では、学力向上のため家庭学習をする習慣をつけることをお願いしています。

そのためには、宿題があってもなくても自分から進んで机に向かう習慣を身に付けることが重要です。人に言われたから机に向かって学習するなど、受身的な学習では決して長続きはしないものです。

また、テレビやゲームなど子どもの心を揺り動かすものが、周りにたくさん存在しています。その誘惑に負けない強い気持ちを持つことも肝要です。時には弱い心に打ち勝つ心、我慢強さも大切ではないでしょうか。

家庭学習の習慣化のためには、毎日の継続が大切です。

低学年においては、一人でやるのではなく、お家の方が寄り添って安心感のあるリビングの机でもよいのではないのでしょうか。お家の方も家事をしたり読書をしたりしている横で、本を読んだり宿題をしたり2学期の復習をしたり、そういうことからはじめてみるとよいと思います。習慣になるまでは、なかなかうまくできないこともあり、興味のあることから始めるとよいかもしれません。だんだん学習の仕方がわかるようになり、進んで学習する楽しさにも気づくようになってくると、机に向かって勉強をしようという気持ちが出てきます。このような家庭学習の習慣化は、中学校へと進むとき、自分自身の大きな力になっていくものだと思います。子どもたちが自ら進んで学習に取り組めるよう、保護者の皆さまにご協力をお願いいたします。

「あゆみ」をお渡しします

21日には、子どもたちに担任より連絡表が渡されます。お子さんの成長を認め、励まし、ほめていただきたいと思います。

どの子も体格的にも、精神的にもひとまわり成長したはずですが、なかなか自分ではそれに気づかないものです。まわりの保護者や私たち教師が子どもの伸びたところをほめたり、自ら振り返る機会を与えたりすることで、自分の成長を自覚することができるのだと思います。ほかのお子さんと比較したり、できないことをしかりたりするのではなく、ほんの小さい成長であってもそれを家族みんな喜び合ってほしいと思います。そして、3学期を充実したものにするための課題意識と意欲を高めるようにしたいものです。

最後になりましたが、本校の教育活動に対するご理解とご支援をいただき、皆様に感謝いたします。新年を迎えるにあたり、ご家族皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。